

ラーニング・サポーター ♪ 11月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<11月のつぶやき♪INDEX>

- p1 家族のルール @M.A.(人間発達学専攻(児童学)博士課程後期3年) 11月18日 tweet
 p1 卒業論文 @H.C.(相関文化論専攻博士課程前期2年) 11月21日 tweet
 p2 Reach for the Stars @T.R.(英文学専攻博士課程前期2年) 11月6日 tweet

つぶやき1 ♪ 家族のルール

実家に友達が遊びに来た。たまたま祖母や一人暮らしをしている弟も家において、家族全員がそろった日だった。その友達はもう何回も家に来てくれていて、私の家族のこともよく知っている。特別気を遣うことはないが、家の人間が全員そろっていると、ちゃんと「普通の家」に見えているのか？ということがなんとなく気になる。別にうちが特殊な家だというわけではない。うちでは当たり前に行っていることが、別の家族からやってきた人には奇怪なことに見える、ということがあるからだ。

例えば、私の家では、記念日とかの特別な場合でない限り、昼でも夜でも家族みんなで外食をすると、食べ終わった人から次々と席を立て本屋さんやスーパーに行くという習慣がある。それぞれのペースで出たり入ったりする、社員食堂みたいな…。今思えば一番に食べ終わる父がひたすらせっかちで、他の人が食べ終わるのを待ってられないゆえの、ただただマナーの悪い奴らである。でも子どものころは、食べ終わったらすぐレストランを出るのが普通だと思っていた。

いつだったかレストランで友達家族と遭遇した。その家族は全員そろって店を出ていて、よその家は食べ終わった人からどこかに行くなんてことはないらしいと知った。弟たちもそれぞれどこかしらで気づいて、うちの当たり前は他では当たり前ではないのだということをしり合わせた覚えがある。

食べるのが早いとよく言われるのもそれが原因な気がする。食べるペースという概念を知らなかったというか、今もうまくできない。目的が食べることであって、人との会話を楽しむための外食ではないのだ(楽しい時間であることは間違いない)。本当に社員食堂だったということか。

今回、私の友達が遊びに来た時、弟たちと妹も一緒に夜ご飯を食べに行った。案の定、友達を除く私たちきょうだいはさっさと食べ終わり、さすがにもう「常識」を知っているからちゃんとお茶を飲んだりして友達を待っていた。けれど、誰も席を立たないこの空間に違和感があったのは事実である。

うちの習慣は恥ずかしくて人には言えないが、どこの家にもそれぞれのルールや習慣があるのだと思うと面白い。


つぶやき2 ♪ 卒業論文

11月も後半に入り急に冷え込んできましたが、皆さまいかがお過ごしですか？ 私は修士論文の締め切りが迫ってきており、毎日必死に書き進めています。4年生の方も卒業論文の作成が佳境に入ってきた時期だと思いますが、一緒に頑張りましょうね…！

**人間生活学研究科 人間発達学専攻
博士課程後期3年(児童学)**

- 経歴
本学 家政学部児童学科 卒業
本学 家政学研究科児童学専攻(修士)卒業
- 資格
保育士/幼稚園教諭/小学校教員
- 研究分野
「向社会的行動(思いやり行動)」について研究
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています

「教職は両立できるかな」
「卒論のテーマが決まらない」
「発表スライドを見てもらいたい」…
ちょっと誰かに相談したいなというときはありませんか。
皆さんと一緒に考え、答えを出すためのお手伝いをします♪



今回は、学部時代を思い出して卒業論文を書く時のちょっとしたポイントをお話しようと思います。書き方のポイントではなく取り組む姿勢についてなのですが、それは、word ファイルを開きっぱなしにしておく、ということです。論文を書き始めるまでに、まずパソコンの電源を入れて、次にフォルダを開いて、word を開いて…としているうちに、つついスマホをいじったりネットサーフィンをしたり、取り掛かるまでに時間がかかってしまった、という経験を誰もがしたことがあるのではないのでしょうか。そこで、取りかかるまでの心理的ハードルを下げるために、いつでも思った時に書けるようファイルを開きっぱなしにしておくことをおすすめします。

次に、複数媒体にデータをこまめに保存する、ということです。卒業論文の作成中、なぜかデータが飛んでしまった友人が数人いましたし、私自身も論文を提出した3日後にUSBが根元から折れて復旧不可能な状態になってしまいました。パソコンにも保存していたので影響はなかったのですが、学部時代に書いたレポートや授業資料を保存していたので、もう見られないと思うと本当にショックでしたし、これが提出前だったらと思うと大変焦りました。皆さんはそんなことがないように、データは複数の場所に保存しておきましょう！

卒業論文を書いている最中は大変でしたが、今振り返ると一つのテーマについて集中して考えるというのは良い経験になったと思います。

つぶやき3♪ Reach for the Stars

こんにちは。11月に入り、すっかり肌寒い季節になりましたがみなさんいかがお過ごしでしょうか。私は先日東京ディズニーランドに行っていました。目的は10月31日をもってクローズした「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター」に乗ることと、9月からスタートしたショー「Reach for the Stars」を鑑賞することでした。

「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター」は、ディズニー／ピクサー映画『トイ・ストーリー』に登場するキャラクター「バズ・ライトイヤー」が活躍するアトラクションです。2004年にスタートし約20年間運営されてきたため、思い出がある方も多いのではないのでしょうか。私自身も子どもの頃からよく乗っていたアトラクションのため今回のクローズはとてとても寂しい気持ちです。コロナ禍以降、ファストパスの発券が廃止されたことで覆われていた、アトラクションの世界観に合ったロボット型のファストパス発券機も最後にお披露目されていました。「小学生の頃発券しに行ったよね、懐かしいね」なんて親友と言いながら見納めをしてきました。

新しいナイトエンターテイメント「Reach for the Stars」は、シンデレラ城を舞台にさまざまなキャラクターが夢を追い求めて空を翔ける姿を描くキャスルプロジェクションです。1937年に公開された映画『白雪姫』から今年公開の『インサイド・ヘッド 2』に登場するキャラクターまで、数多くのキャラクターが登場するのが特徴の1つです。また、長い歴史を持つディズニー映画の中から「空を翔ぶ」キャラクターや作品を軸に展開される演出は、夢を求めて探究し続けることを描く一貫したディズニー映画の姿にも重なりました。特にお気に入り、『ベイマックス』よりヒロの「飛べるほうがいいって思えないなんてどうかしてる」というセリフと、『トイ・ストーリー』よりバズの「無限の彼方へさあ行くぞ」をウディが言うシーンです。来園予定のある方はぜひ見てみてください。ただ始まったばかりのため早めに来園して鑑賞チケットを取得するか、事前に鑑賞位置を確保した方が良いかと思います。おすすめはもちろんシンデレラ城の真正面です。また、登場するキャラクターが多いためいくつか映画を知っている方がより楽しめると思います。



ラーニング・サポーターのつぶやき (2024年11月)
 ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html
 編集: JWU ラーニング・コモンズさくら